

美術

発行者の番号 略称			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
9	開隆堂出版	開隆堂 ◆	美術 009-72 009-82	A4変形 200	令和6年
38	光村図書出版	光 村 ◆	美術 038-72 038-73 038-82	A4変形 ※038-73はA4 208	
116	日本文教出版	日 文 ◆	美術 116-72 116-83 116-84	A4変形 198	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」(学校教育法第34条第2項に規定する教材)の発行予定があることを示しています。

校 種		視覚障害特別支援学校	聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
観点	生徒の実態	・両眼の視力がおおむね0.3未満又は視力以外の視機能障害が高度で、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度である。	・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
	内容の取扱い等	1 障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等 2 障害への配慮を要する内容等	①色や形の構成など視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。 ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	①上肢の操作を伴うものであっても、実際に表現できる内容が示されているもの。 ①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの。
	構成上の工夫	①文字・図版が鮮明であるもの。	①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①体験の不足等を補えるように、図版が鮮明で理解しやすいもの。

中学部 美術(視覚障害特別支援学校)

教科書発行者		開隆堂	光村	日文
内容	「A表現」の内容別題材数	13	15	18
	「イ 目的や機能などを考えた発想や構想」に関する題材の数	11	10	18
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の 扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
	生徒作品の数	177	92	191
	日本の美術作品の数	209	267	278
	諸外国の美術作品の数	119	132	129
	「美術の働きや美術文化」に関する事項の数	35	36	44
	視覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚以外の感覚(触覚や全身の皮膚感覚、音を聞き分けたり等)を活用して表現するもの。	13箇所 ①2・3年「イメージを形にして」では、自分の表現したい思いや気持ちなどを粘土などで表現する活動があり、触覚等を活用して表現することができる。(P54)	16箇所 ①1年「自然の形や色を見つめて」では、石を触って温度や質感を確かめる活動があり、触覚等を活用して表現することができる。(P18-19)	23箇所 ①2・3年上「つくる・使う・材料を味わう工芸」では、木や金属、粘土の手触りや重さを観察し、つくるものの形や加工方法を考える活動があり、触覚等を活用して取り組むことができる。(P44-45)
	視覚障害への配慮を要する内容等について ①絵画等の鑑賞などを通して表現する活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。 ②安全への配慮から、道具等の取扱いに困難が想定されるもの。	39箇所 ①1年「構成の美しさ」では、身近なものから美しい形や色彩の並び方をしているものを探す活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P36) ②1年「ずっと木といっしょに」では、電動糸のこぎりで木を加工する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P47)	38箇所 ②2・3年「心の中の風景を表す」では、写真を見て心に残っている風景を思い出し表現する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P9) ②資料「金属でつくる」では、金切ばさみやラジオペンチを用いて、金属を加工する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P19)	37箇所 ①1年「文字が生み出すイメージ」では、文字が意味するものの形や色彩、イメージに注目した絵文字をつくる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P40-41) ②2・3年上「金属でつくる」では、高温にした金属を溶かして形を作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P57)
構成上の工夫	ふりがな	未習得漢字	未習得漢字	未習得漢字
	解説文等がついている作品数	272	327	309
	折り込みページの箇所数	10箇所	7箇所	10箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①文字・図版が鮮明であるもの。	①2・3年「印象派の表現の広がり」では、印象派の作品を折込見開きページに大きく掲載している。(P28-31)	①2・3年「『ゲルニカ』を鑑賞しよう」では、折込見開きページに大きく作品を掲載している。(P61-64)	①2・3年下「あの日を忘れない」では、左ページに示した作品の一部を右ページに原寸大で示し、描かれているものや表現技法が確認できるようにしている。(P24-25)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

中学部 美術(聴覚障害特別支援学校)

教科書発行者		開隆堂	光村	日文
内 容	「A表現」の内容別題材数	13	15	18
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
	生徒作品の数	177	92	191
	作品等の数	209	267	278
	日本の美術作品の数	119	132	129
	諸外国の美術作品の数	35	36	44
	「美術の働きや美術文化」に関する事項の数	15箇所	19箇所	23箇所
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①色や形の構成など視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。	①2・3年「ひと目で伝える表示」では、色や形を工夫して、ピクトグラムのデザインを考える活動があり、視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できる。(P66-67)	①2・3年「あかりがつくる空間」では、光から受ける印象を考えながらあかりをつくる活動があり、視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できる。(P84-85)	①2・3年上「思いが飛び出すカード」では、形や色彩、構成に着目して、飛び出すカードを制作する活動があり、視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できる。(P36-37)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。	①1年「ずっと木といっしょ」では、音が出る木のおもちゃを工夫してつくる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P47)	①1年「響き合う形と色」では、曲を聞いたイメージで絵を描く活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P30-31)	①2・3年下「芸術としての漫画表現」では、漫画で、絵画的に表現された擬声語の効果を考える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P15)
構 成 上 の 工 夫	ふりがな	未習得漢字	未習得漢字	未習得漢字
	解説文等がついている作品数	272	327	309
	折り込みページの箇所数	10箇所	7箇所	10箇所
	障害の状況に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。	①2・3年「写して見つけて」では、ドライポイントやコラグラフの技法の手順を写真で示している。(P36)	①1年「心ひかれるこの風景」では、身近な風景を様々な位置や角度から見て構図を考えることについて、写真や補助線で説明している。(P25)	①1年「水墨画の表現」では、墨の濃淡やにじみ方の違い、水墨画の技法を、写真で示している。(P64)
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり

中学部 美術(肢体不自由・病弱特別支援学校)

教科書発行者		開隆堂	光村	日文
内容	「A表現」の内容別題材数	「ア 感じ取ったことや考えたことなどを基にした発想や構想」に関する題材の数 13	15	18
	「イ 目的や機能などを考えた発想や構想」に関する題材の数	11	10	18
	「A表現」の「表現技法、材料、用具の扱い」について具体的に示したページ数	80	83	95
	「B鑑賞」の題材等の数	58	66	90
	生徒作品の数	177	92	191
	日本の美術作品の数	209	267	278
	諸外国の美術作品の数	119	132	129
	「美術の働きや美術文化」に関する事項の数	35	36	44
	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、実際に表現できる内容が示されているもの。	①2・3年「伝えたいメッセージ」では、タブレット端末を用いて写真を撮ったり編集したりする活動があり、上肢の操作を伴うものであっても、表現することができる。(P72-75) 30箇所	①2・3年「メッセージを伝える」では、写真をコラージュして表現する活動があり、上肢の操作を伴うものであっても、表現することができる。(P70-73) 31箇所	①1年「材料に命を吹き込む」では、廃材など身近で手に入りやすいもので作品をつくる活動があり、上肢の操作を伴うものであっても、表現することができる。(P20-21) 32箇所
	肢体不自由・病弱の配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、道具等を扱う学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの。	①1年「ずっと木といっしょに」では、電動糸のこぎりで木を切り出す活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P47) 6箇所 ②該当なし	①1年「木と親しむ暮らし」では、小刀で木を削る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P62-63) 6箇所 ②該当なし	①2・3年上「人物をつくる」では、針金を折り曲げたり組み合わせたりして心棒をつくる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P55) 8箇所 ②該当なし
構成上の工夫	ふりがな	未習得漢字	未習得漢字	未習得漢字
	解説文等がついている作品数	272作品	327作品	309作品
	折り込みページの箇所数	10箇所	7箇所	10箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①体験の不足等を補えるように、図版が鮮明で理解がしやすいもの。	①1年「江戸の美術の面白さ」では、江戸時代の美術作品の写真を、解説とともに折込見開きページで大きく示している。(P26-31) 11箇所	①資料「自然の中の形・色・光」では、自然の中にある形や色、光を、解説とともに写真で示している。(P26-27) 7箇所	①2・3年下「さまざまなアートに触れよう」では、芸術祭や作品展などの様子を写真で示している。(P48-51) 10箇所
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり